

物理学年次大会 2018 年春 講演情報

講演題目：

KAGRA 腕共振器鏡のための 13.5 m 防振懸架系の開発

所属：

総研大、KAGRA コラボレーション^{AA}

氏名：

奥富弘基, KAGRA コラボレーション^{AA}

講演要旨：

重力波望遠鏡 KAGRA は 3km 長の L 字型の腕を持つマイケルソン型レーザー干渉計である。重力波観測では、地面振動によって干渉計の鏡が揺らされると感度の悪化や観測時間のロスにつながる。そこで我々は多段振り子を利用した防振懸架系に鏡を懸架することで地面振動の影響を低減する。KAGRA では干渉計の鏡の役割に応じて 4 種類の防振懸架系を使用しており、本講演では腕共振器鏡に用いられる全高 13.5 m の防振懸架系の開発について述べる。

英語講演情報

講演題目：

Development of 13.5-meter-tall Vibration Isolation System for Arm Cavity Mirrors in KAGRA

所属：

Sokendai (GUAS), KAGRA Collaboration^{AA}

氏名：

K. Okutomi, KAGRA Collaboration^{AA}